



# シスコとエクイニクスによる マルチクラウドSD-WANのご紹介

- 2021. 3. 11 -

Cisco Systems  
Enterprise Networking Div  
SD-WAN PSS: Nori Jito



# Cisco Systems: Our Strategy

The image features a dark blue background with a series of bright blue, parallel lines that converge towards the top right corner, creating a sense of depth and perspective. The lines are arranged in a fan-like pattern, with the widest lines at the bottom and narrowing as they approach the top right. The text "Cisco Systems: Our Strategy" is centered on the left side of the image in a light blue, sans-serif font.

## Our Strategy

Help customers connect,  
secure and automate to  
accelerate their digital agility  
in a cloud-first world

我々シスコシステムズは、  
クラウドファーストの世界で、顧客のビジネスの俊敏性を加速するため、  
接続性、セキュリティ、自動化を支援いたします。

COVID-19  
新しい生活様式と今後のIT対応

# A New Normal: BCPからBCEへ

事業を継続して実行するBusiness Continuity Execution (BCE)



旧来: オフィス中心型

vs

現在: どこでも事業継続できる環境

世界中で急速なデジタルシフトが起きている

# 過去、現在、そして“これからのスタイル”

過去

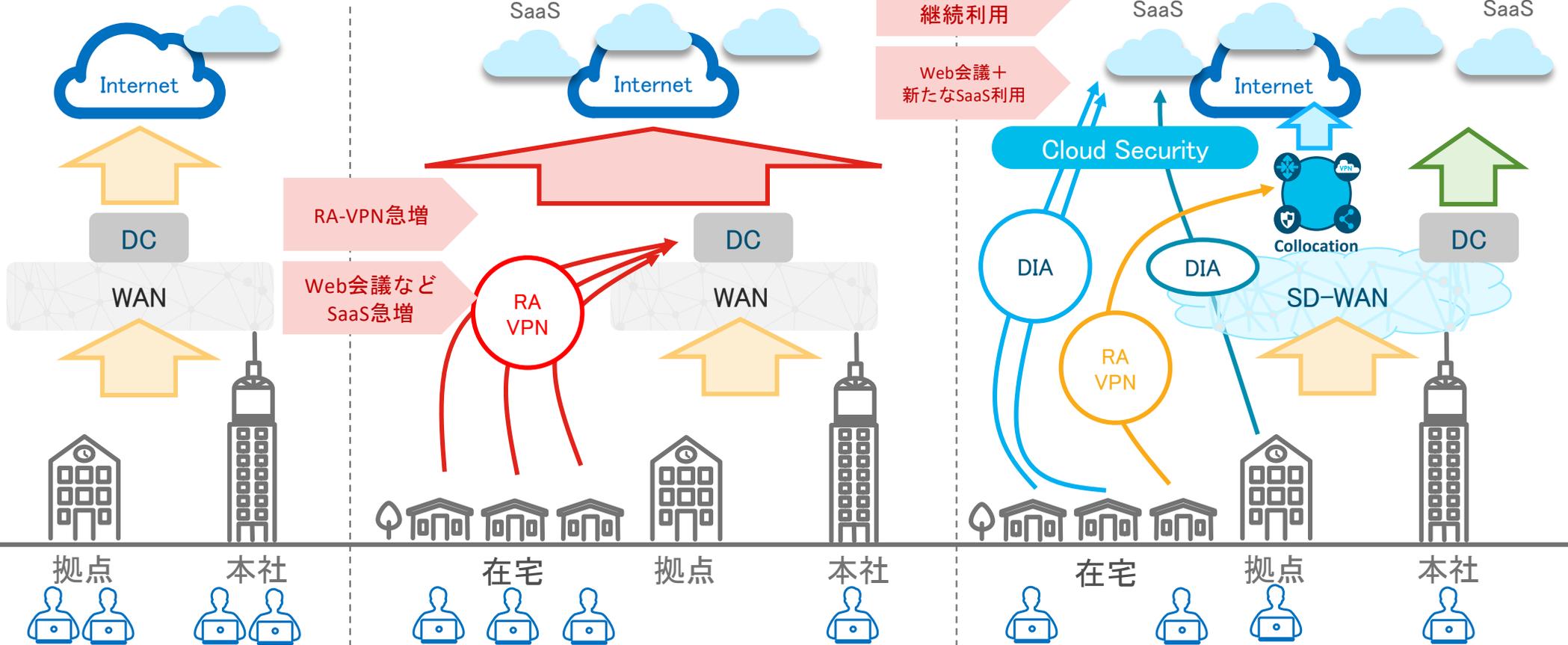
現在

働き方の新しいスタイル

SaaS/IaaS

SaaS SaaS IaaS

SaaS SaaS IaaS SaaS



オフィス業務中心

急激なりモートワークの増加

バランスの取れたテレワーク・ローテーション勤務

© 2021 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved. Cisco Public

# ”これからのワークスタイル”だけではないアプローチ

- ・事業継続性(BCP)とNew Normal(これからのワークスタイル)

自然災害などによる地域的に  
長期的な事業継続が困難な状況

一時的、局地的に  
出社が困難な状況

在宅を基本とした新しい働き方  
業務効率化、従業員満足度の向上

BCP

Business Continuity Plan

New Normal

これからのワークスタイル

最低限の範囲で  
事業を継続する

通常に近い形で  
ビジネスを円滑にすすめる

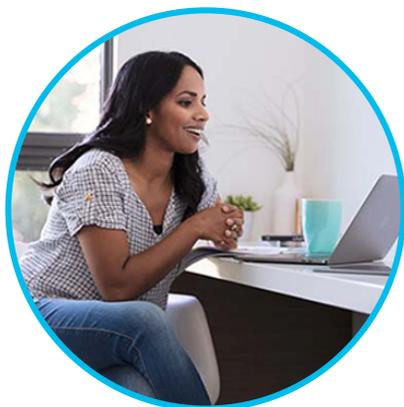
働き方の多様化

これからのワークスタイルに  
必要な要素

# これからのワークスタイルに必要なIT要素

家、オフィス、リモートワークとバランスの取れた働き方を安全に実現するために必要なIT要素

Home/Remote



Satellite



Office

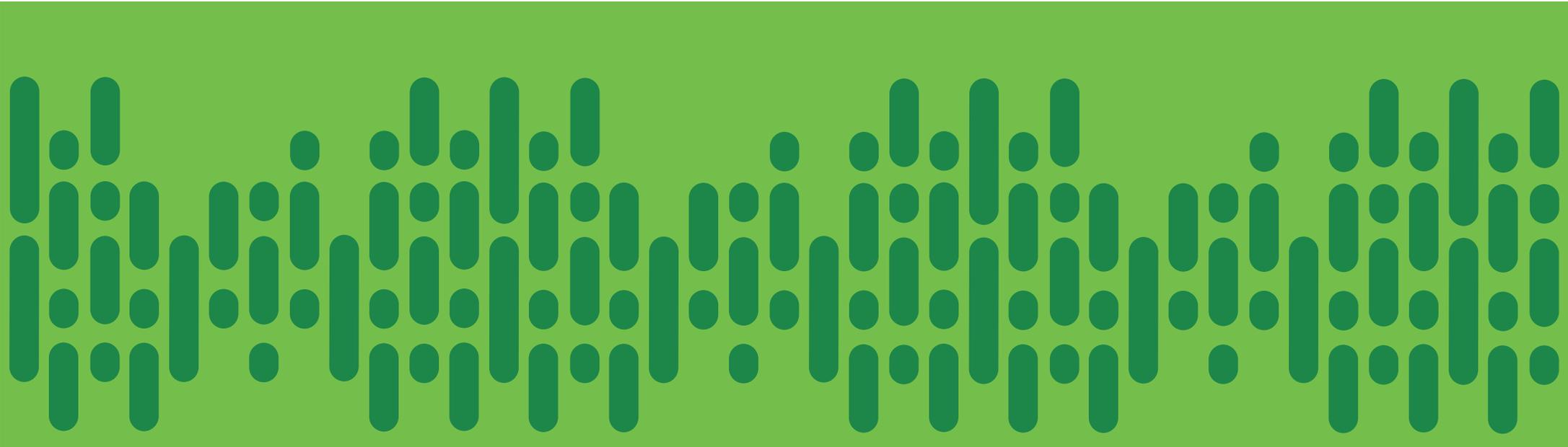


Zero Trust: ゼロトラスト

SASE: Secure Access Service Edge

Automated: 自動化

Resiliency: 復元力・継続性



SASE: Secure Access Service Edge

# Secure Access Service Edge (SASE)

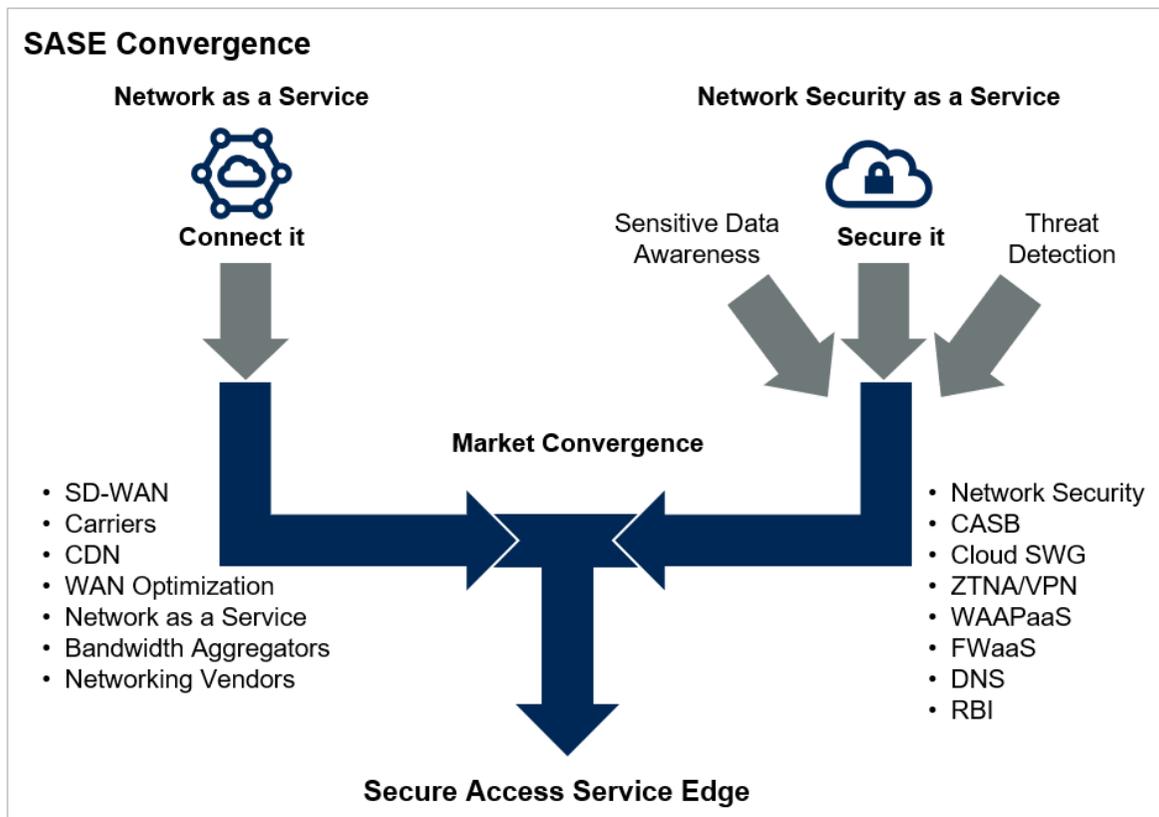
SWG、CASB、DNS保護、サービスとしてのファイアウォール、SD-WAN、ゼロトラストネットワークアクセスなどのネットワークサービスとセキュリティサービスの統合

Benefit rating:  
Transformational

Market penetration:  
Less than 1% of target audience

Maturity:  
Emerging

Gartner, The Future of Network Security  
Is in the Cloud, Neil MacDonald, Aug 30, 2019



# 戦略的クラウドパートナーシップを通じて 最適なアプリケーション体験を提供



Office 365最適化  
テレメトリデータを活かした  
最適パス選択

vWANとのネイティブ統合

設定/ポリシー変更を  
自動化、一元運用



仮想インスタンスで  
AWSワークロードまで  
容易にネットワーク拡張

AWS TGWネットワークに  
SD-WANエンドポイントを  
ネイティブ統合



Cisco SD-WANを  
コロケーション  
サイトまで拡張

パブリッククラウドへの  
セキュア、低遅延な  
ダイレクトコネク

End-Endの一貫した運用性



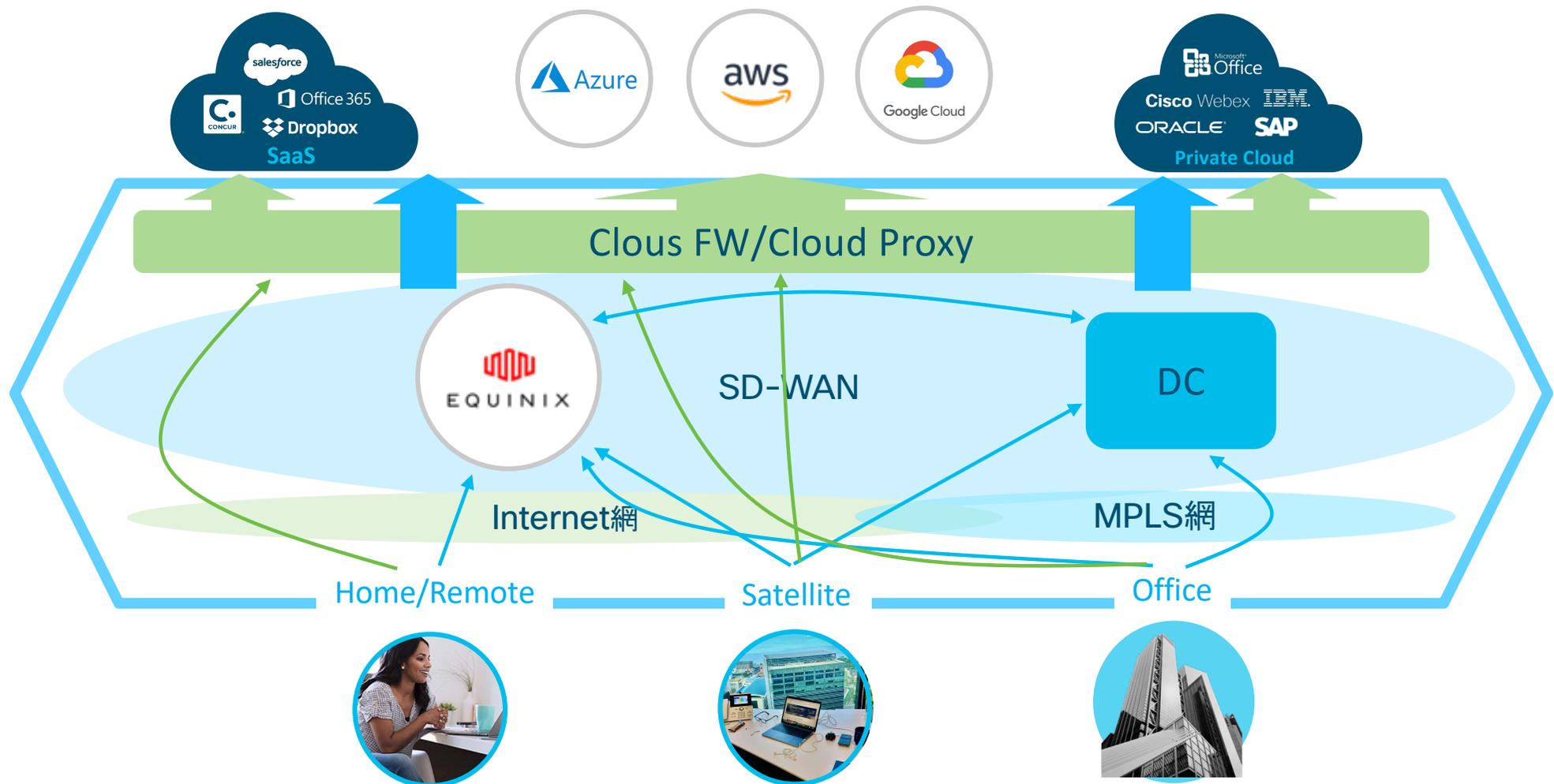
アプリケーション中心の  
マルチクラウド  
ファブリック

アプリメタデータに基づく  
SD-WANポリシー自動化

Google Cloudの  
高速バックボーンを活用

企業のクラウド戦略を支援・加速

# Cisco SD-WAN as a SASE



# Cisco SD-WAN as a SASE



# Cisco SD-WAN as a SASE





# 多くのお客様で抱えている課題

## Customer's Challenges

# クラウド時代のWANのあるべき姿

様々な変化に対して素早く柔軟に対応するための新たなネットワーク構成へと変化する必要がある

要件	Cisco SD-WANでの解決策	効果
運用負荷の低減	ルーター・EdgeをCloud Manageで一元管理 GUI/テンプレートにより簡単に管理・運用可能	コスト削減
Gateway機器の集約	ルーター+UTM機能を搭載したCisco SD-WAN Edgeにより、GWの機器構成を 最小化、最適化可能	コスト削減
SaaS/IaaSの活用	Cloud onRamp for SaaS/IaaS、AWS TGWとの統合により、DC・サーバリソースの 最適化・削減が可能	コスト削減
DCリソースの最適化	Direct Internet Access:DIAの利用と、コロケーション、IaaS 活用、Azure Backbone利用など、様々な機能の活用でDCリソースを最適化可能	コスト削減
インシデント対応	セキュリティインシデント対応時に、WAN/Network構成を即座に変更可能。遮断、 復旧も迅速に対応可能	変化への対応
ポリシーの統一	WANネットワークポリシーだけでなく、セキュリティポリシーも統合管理可能	変化への対応
セキュリティの強化	Edgeセキュリティ+Cloud セキュリティ ラテラルムーブメントとクラウドセキュリティへの対応	変化への対応
セグメンテーションの変更	トラフィック種別毎にWAN Segmentationを分離可能 組織や拠点の属性変更時も即座に変更可能	変化への対応

# 製造業として考慮すべきポイント

製造業において、SASE/SD-WAN/ローカルブレイクアウトを検討する際に考慮すべき多くの点が存在しています。

- Cloud Security/Collocation Providerの併用
  - ブレイクアウト、データセンターGWの2択だけでなく、アプリケーション・プロトコルに応じてCloud SecurityやCollocation Providerを選択し、適切なセキュリティ、最適なSaaS/IaaS利用を考慮する
  
- キャリア・回線種別の選定
  - OT系通信、機密情報を伝送する通信は信頼性の高い回線を利用する -> MPLS網
  - 地域特性やコスト比較によるインターネット回線の利用 -> Active/Activeで実効帯域増
  
- Security
  - アプリケーションやデータによって、セキュリティ手法やレベルを検討する必要あり
  - OA系通信、OT系通信、設計・製造データ、PLCから排出される情報、パテント情報
  
- 新しい働き方への対応
  - 同一建物内に同居している関連会社、子会社のトラフィックを論理分割
  - より高度なセキュリティレベルが求められる部署のトラフィックやアプリの論理分割

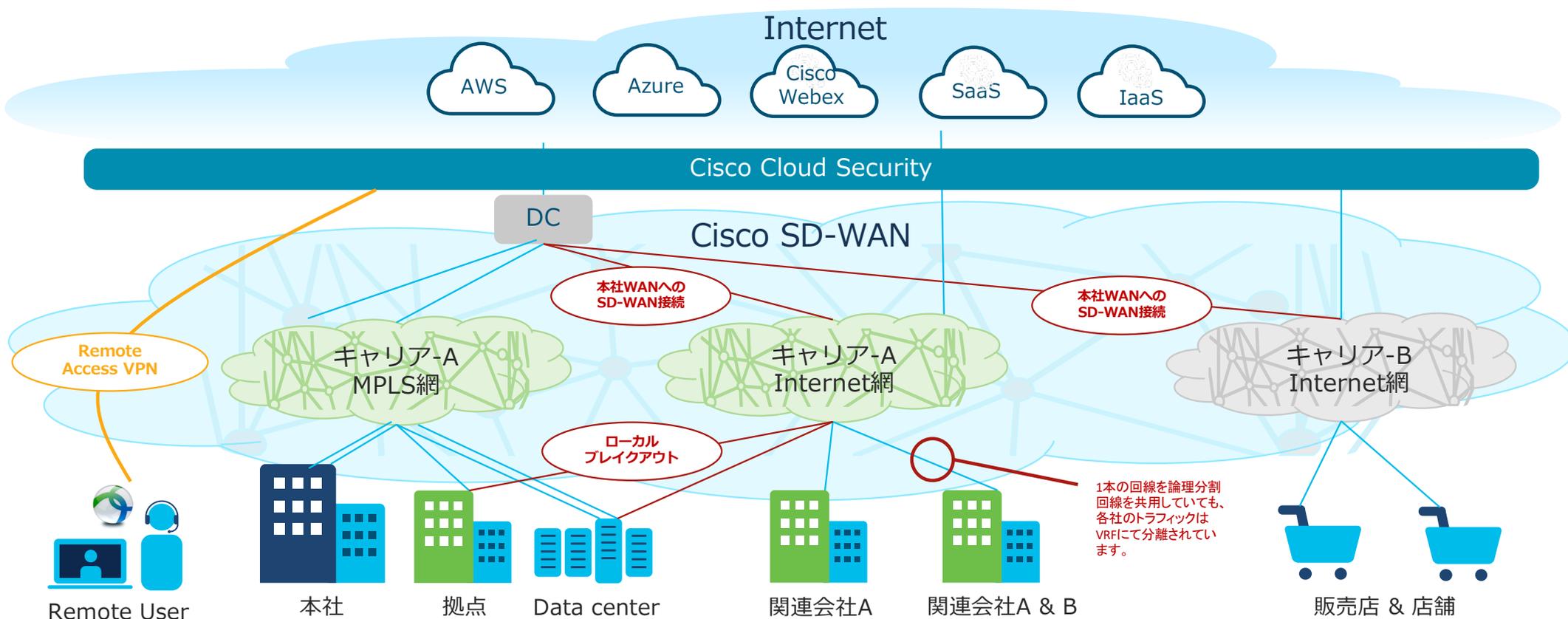
# 製造業として考慮すべきポイント

必要となる技術要件を基に、考慮すべきポイントの絞り込みを実施

大項目	中項目	小項目	機能メモ	機能説明	検討項目	
設計	基本設定	Interface		Autoと固定で設定可能(10/half~1000/full)。		
		Vlan(L2)		Access/Trunk/Sub InterfaceにもL2機能をが実装可能。		
		Vlan(L3)		Routed Port/SVIにもL2機能をが実装可能。		
		PPoE		PPoEが実装可能。		
		Routing Protocol		Static Routing/BGP/OSPF/EIGRPが実装可能。		
		QoS		Shaping/Marking/優先制御可能。		
		NAT		NATが実装可能。		
	管理設定	VPN		Gre/IPSecも実装可能。		-既存環境との親和性 -既存環境からの導入設計のしやすさ -既存運用から大きく変わる点の確認
		DHCPルーター		DHCPルーターが実装可能。		
		NetFlow		NetFlowが実装可能。		
		NTP		NTPが実装可能。		
		SNMP		SNMPが実装可能。		
		Syslog		Syslogが実装可能。		
		tacacs		tacacsが実装可能。		
		radius		radiusが実装可能。		
冗長構成		VRRRP、TLOC Extensionなど冗長構成が可能。				
Security	Security	Zone Base Firewall		アプリケーションベース、FQDNベース、Geoベース(*)のFW機能実装可能。	-Edge側で実装するセキュリティ機能 -セキュリティインテグレーション	
		IDS/IPS		IDS/IPS実装可能。		
		Malware Protection		Malware Protection実装可能。		
	導入方法	URL Filtering		URL Filtering実装可能。		
		ZTP		手動設定でもZTPでも導入が可能。	-ZTP機能の完成度	
	通信制御設定	設定投入		Templateでまとめて設定投入可能。		
		通信分類(マッチング)		IP、アプリケーション、通信状態(遅延、スループット、ジッタ)、バイト数で分類できる。	-IBOのみではなく、Act - Actなど経路最適化の柔軟性	
	セグメンテーション	通信制御		IP、アプリケーション、通信状態(遅延、スループット、ジッタ)、バイト数を基準に通信を振り分ける(IBO含め)ことができる。	-要件に合わせて柔軟にポリシー設定	
		VRF		用途に合わせてセグメンテーションが可能。	-セグメンテーションのキャパシティ	
	WAN可用性	アプリケーション最適化		TCP Optimization、FEC、Packet Duplication、SLA Path選択、DRE(*)などでアプリケーションを最適化可能。	-帯域保証型ではない回線のケース	
		音声データ最適化		音声モジュール	-音声系モジュールもSD-WANで統合	
	基本アーキテクチャ	音声モジュール		ISR4Kにおいて音声モジュール使用及びSRST統合可能。		
		コントロールプレーンとデータプレーンが分かれていてすべてのWANルータを一元管理(一元設定変更)が可能。		コントロールプレーンとデータプレーンが分かれていてすべてのWANルータを一元管理(一元設定変更)が可能。	-セキュアなSD-WANアーキテクチャ -要件に合わせた柔軟な設定方法	
	クラウドセキュリティ	暗号化		IKE/Preshared Keyは使用しない。すべてのカギ交換はセキュアな経路で行われる。		
		ユーザーインタフェース		GUI/CLI後にも使用可能。		
クロスアーキテクチャ	トポロジ		フルメッシュ、バーチャルメッシュなど自由にトポロジを構成可能。			
	クラウドセキュリティ		クラウドセキュリティ連携が可能。同社製クラウドに関しては自動化機能あり。(Umbrella)	-連携機能の充実さ		
	データセンター-NWソリューション		データセンター-NWソリューションと連携が可能。同社製クラウドに関しては自動化機能あり。(ACI)	-インフラ全体の最適化(一貫したポリシーをEnd to Endで実現)		
	キャンパスNWソリューション		キャンパスNWソリューションと連携が可能。同社製クラウドに関しては自動化機能あり。(DNA Center)	-コロケーション/マルチクラウド構成に対する柔軟さ		
	コロケーション		Equinix、Megaportなどのプロバイダーと連携して最適化可能。	-強いパートナーシップ		
	マルチクラウド		AWS、Azure、GCPのクラウドサービスと連携して最適化可能。SaaS環境に関しても経路最適化可能。			
運用	可視化	アプリケーション識別		DPIエンジンで約1,500種類アプリケーション識別が可能。	-アプリケーション別のトラフィック可視化	
		カスタマーアプリケーション		管理者がアプリケーション識別のために任意でアプリケーションを指定可能。		
		WANイベント/管理		全EdgeルータのOS/バージョン、Up時間、CPU/Memory使用率などイベントが管理可能。		
		Geography		全Edgeのロケーションを管理可能。		
		トラフィック可視化(App)		各アプリケーションごとにどのくらい使用されているか確認可能。アプリケーション使用者もIPレベルで特定可能。		
	管理方法	トラフィック可視化(Interface)		各インターフェイスごとにトラフィック量、エラー、パケットドロップ量などインターフェイスステータスを確認可能。	-RBACの実現 -容易な一元管理	
		TLOC/Tunnel		各TLOC、トンネルごとにステータス(パケットロス、遅延、ジッタ)を確認可能。		
		セキュリティステータス可視化		FW/Intrusion Prevention/URL Filtering/Advanced Malware Protection/Umbrella DNS Re-directのステータス確認可能。		
		Login		https、SSHで接続することが可能。		
		管理権限		管理権限ごとに権限を付与すること(RBAC)が可能。		
	トラブルシューティング	設定Backup		テンプレートとしてBackupが可能。	-トラブルシューティング機能	
		設定restore		Backupテンプレートから設定をrestoreすることが可能。		
		設定rollback		テンプレートを世代別、拠点ごとに管理可能。		
		一元管理		設定の追加及び削除をコントローラから一元に管理可能。		
		OSバージョンアップ		対象指定でコントローラから一元にバージョンアップ可能。		
分析	全体		UIで全EdgeのUp/Downを確認可能。			
	状態確認		全WAN内のエラー、ワーニング状態を確認可能。			
分析	Events		イベントログを確認可能。			
	Simulation		トラフィックのシミュレーション可能。			
分析	Packet Capture		パケットキャプチャが可能。			
	アラート		メール送信、Webhookでの通知が可能。WebhookはCiscoしかできない。			
分析	vAnalytics		WAN全体のトラフィック種類と量などトラフィック状態を分析可能。WAN全体から各拠点ごとの状況まで絞り込み可能。			

# Cisco SD-WAN as a SASEのメリット

回線キャリア、回線種別、本数など、様々なネットワーク・WAN環境を、統合されたSD-WANとして一括管理可能です

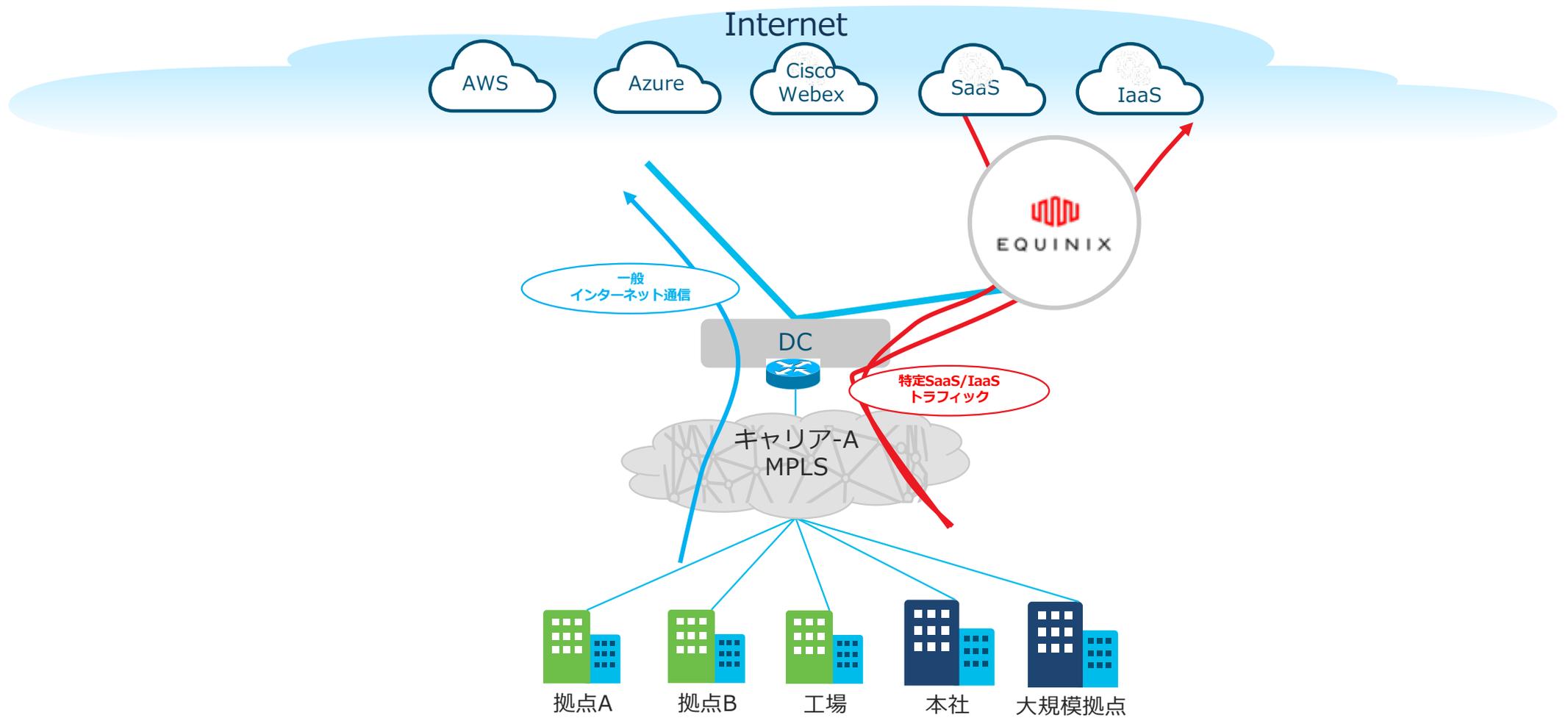


# Cisco SD-WAN as a SASEのメリット

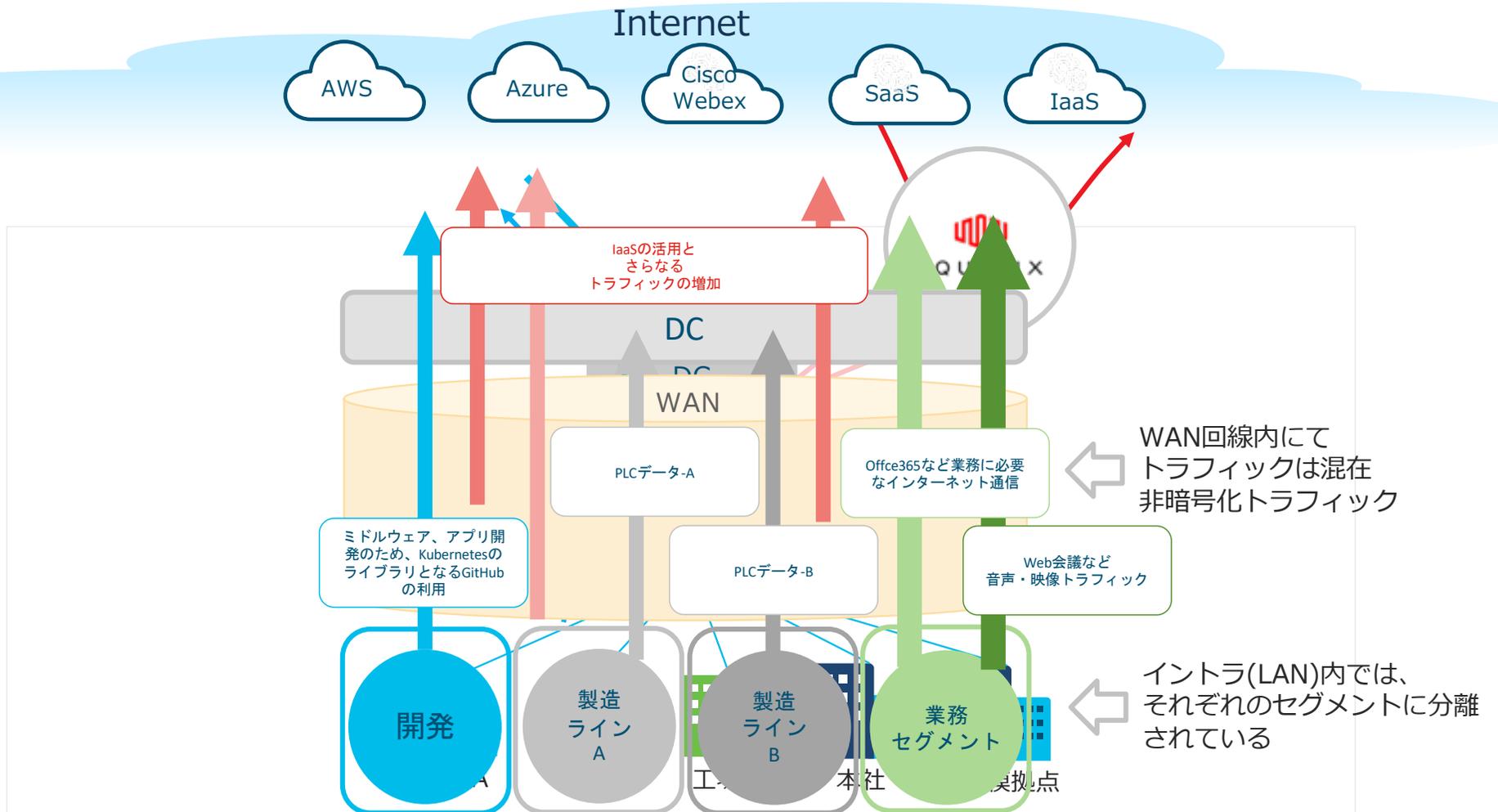
回線キャリア、回線種別、本数など、様々なネットワーク・WAN環境においても様々なメリットがございます。

- ✓ Cloud Security、Remote Access VPN、SD-WANとSASEに必要な要素の全てを提供可能
  - Cisco Umbrella, AnyConnect, Cisco SD-WAN(Viptela)
- ✓ 拠点ごとに、既存環境、新規回線敷設、地域特性を生かしたキャリア選択が可能
  - 地域特性や回線コストを考慮したWAN構築が可能
  - 既存環境(MPLS/IP-VPN網)の活用
  - 回線種別変更によるコスト削減
- ✓ 既存MPLS網を存続させつつ、インターネット回線増設によるローカルブレイクアウトの実現
- ✓ 拠点機器の集中管理
  - SD-WANルータ機能+セキュリティ機能の集中管理
    - ネットワーク設定：ルーティング設定、アプリケーション振り分け設定
    - セキュリティ設定：F/W, IPS設定
- ✓ 回線内の論路分割：VRF
  - 属性の異なる組織のトラフィックを論理分割
    - 例：経理部門・営業部門の論理分割
    - 販売業務・保険業務の論理分割
    - など

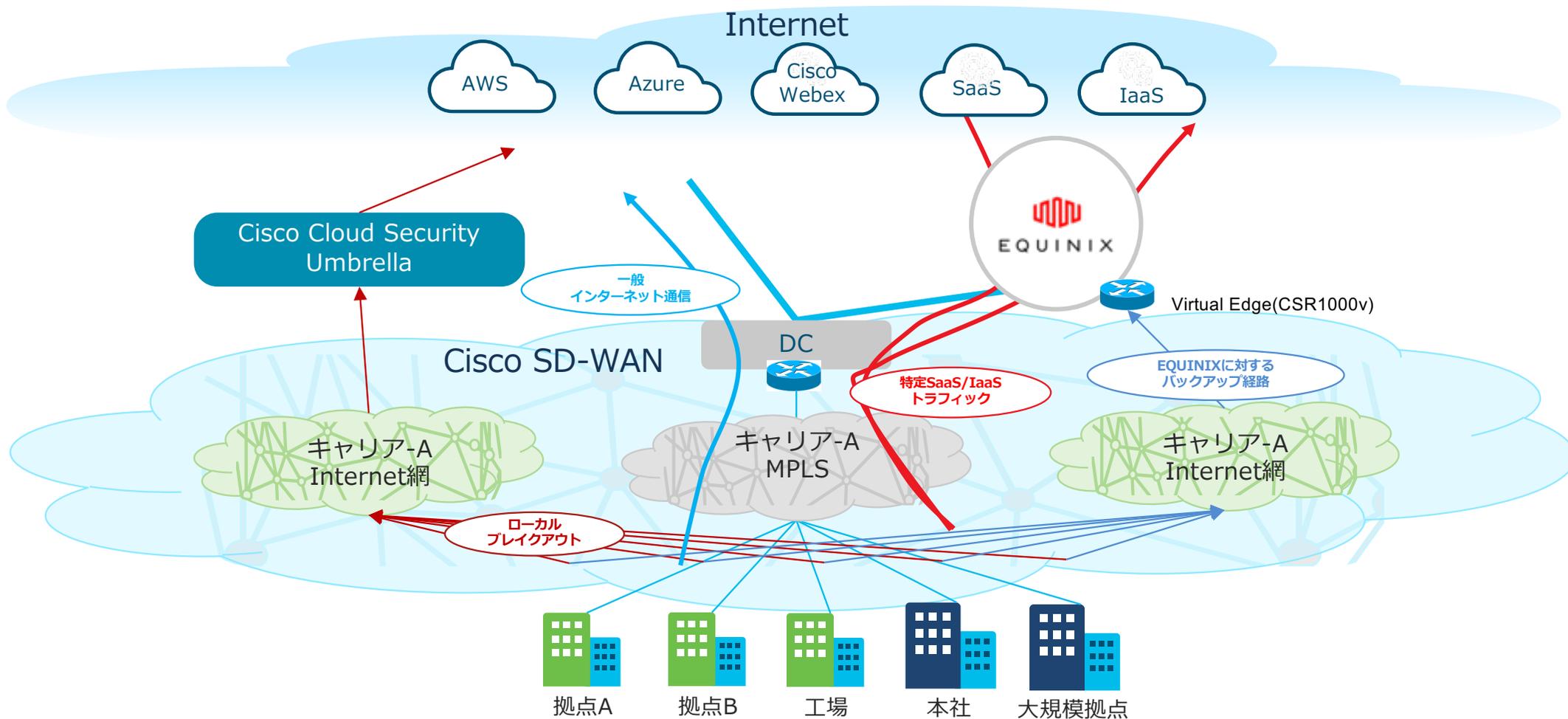
# 現状の構成



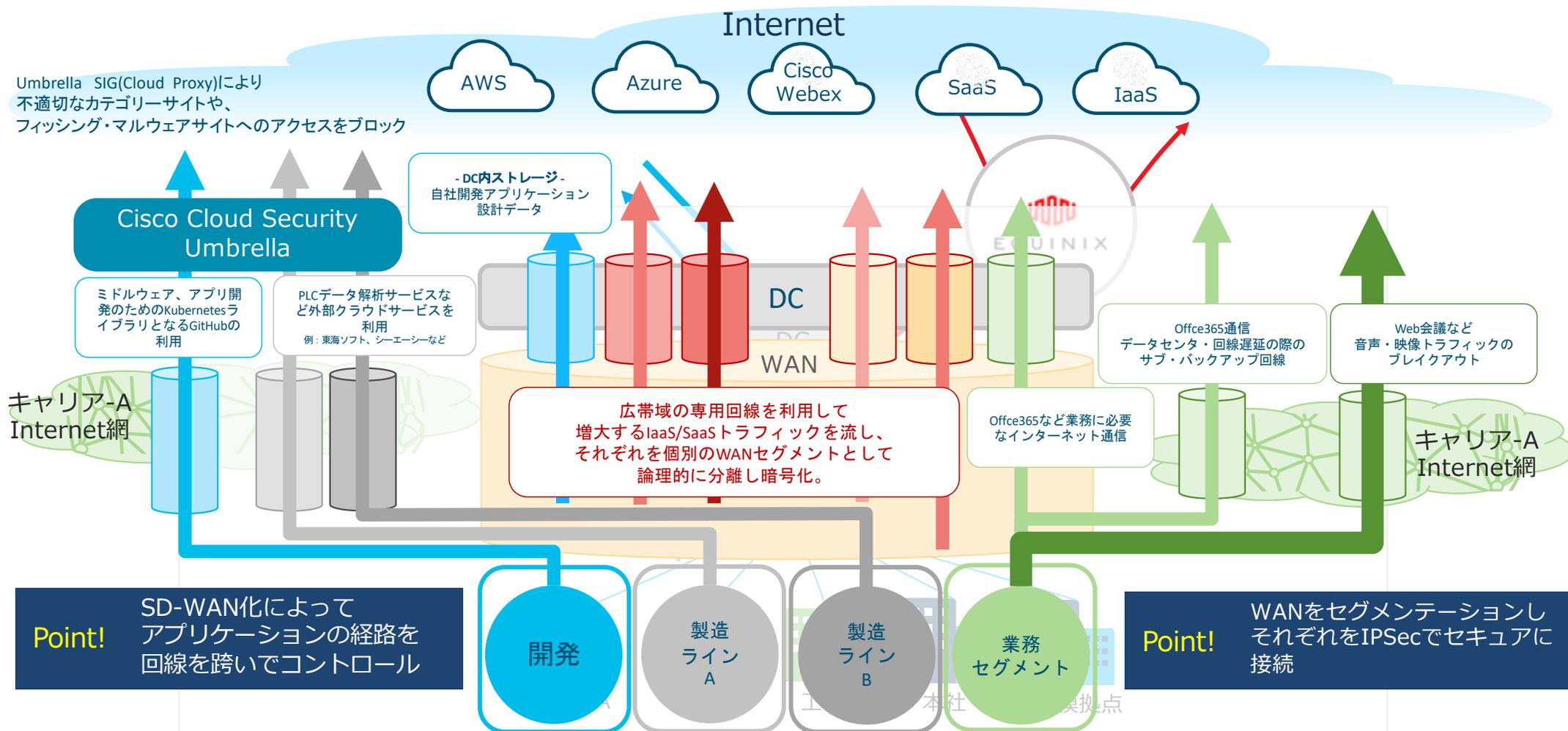
# 現状の構成：アプリケーショントラフィック



# Cisco SD-WAN as a SASEの利用時の構成



# Cisco SD-WAN as a SASEの利用時の構成：アプリケーショントラフィック



お客様がSD-WANに  
期待していること

# お客様(マーケット)がSD-WANに期待している内容

## SD-WANで期待しているもしくは、想定している内容

- 各拠点のアクセスラインの回線をMPLS・インターネットで併用することができ、回線コストを安価にすることが可能
- 各拠点によって、回線種別パターンを用意し、トラフィック・アプリケーションの優先制御を行い、制御系などの重要通信の優先度を上げることで品質担保が可能
- 制御系通信とOA系通信をセグメンテーション分割して論理的に分けることが可能となり、セキュリティレベルが向上
- 各拠点のアクセスラインの回線を片系インターネット回線とし、インターネット通信を拠点からダイレクトアクセス(ローカルブレイクアウト)することが可能
- DC側のアクセスライン及びインターネット回線の契約帯域を下げることで、回線コストを安価にすることが可能

# お客様(マーケット)がSD-WANに期待している内容

## SD-WANで期待しているもしくは、想定している内容

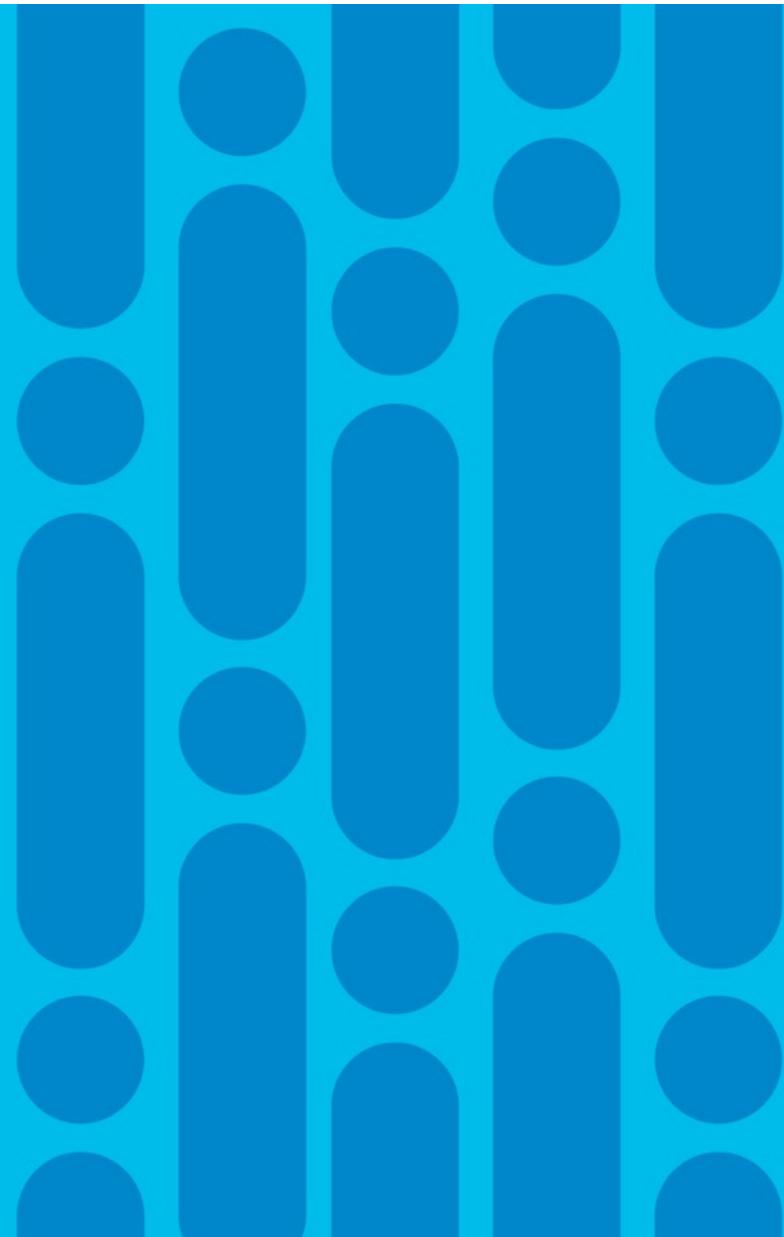
- 各拠点のルータのメンテナンス(更新・バージョンアップ)時に、事前にトラフィックを片寄せすることで通信影響無くメンテナンスすることが可能。
- メンテナンス作業時の停止調整負荷の軽減、ユーザの業務継続に貢献。
- グループ会社との接続点を、既存DCに依存せず、グループ会社側でインターネット回線を敷設し、WAN化(SD-WAN化)が可能
- 同じ拠点場所に入居していれば、1つの回線を共有して利用することができる。グループ会社毎にセグメント分けし、セキュリティを担保
- Office365、AWS、Azureなど、さまざまなIaaS/SaaSへの直接接続により、DC運用からの脱却および、クラウドネイティブな運用へとシフト可能

# お客様(マーケット)がSD-WANに期待している内容

## SD-WANに求めているもの:まとめ

- 回線選択の自由度を高め、従来の専用線やMPLS網だけではないインターネット回線選択によるコスト削減効果
- 制御系の重要な通信、OA系のSaaS/IaaS通信、DCの既存アプリケーション向通信、一般インターネット通信などを適切に振り分けて、セキュリティの担保とユーザビリティの向上を図る
- ルータ機能・セキュリティ機能を1台で実装し、オールインワンでの設計・設定が可能となり、運用効率向上に大きく寄与できる
- 既存環境を踏襲したルーティング・トラフィックの振り分けを行い、既存WANとSD-WANとの併用期間においても、安定運用が可能

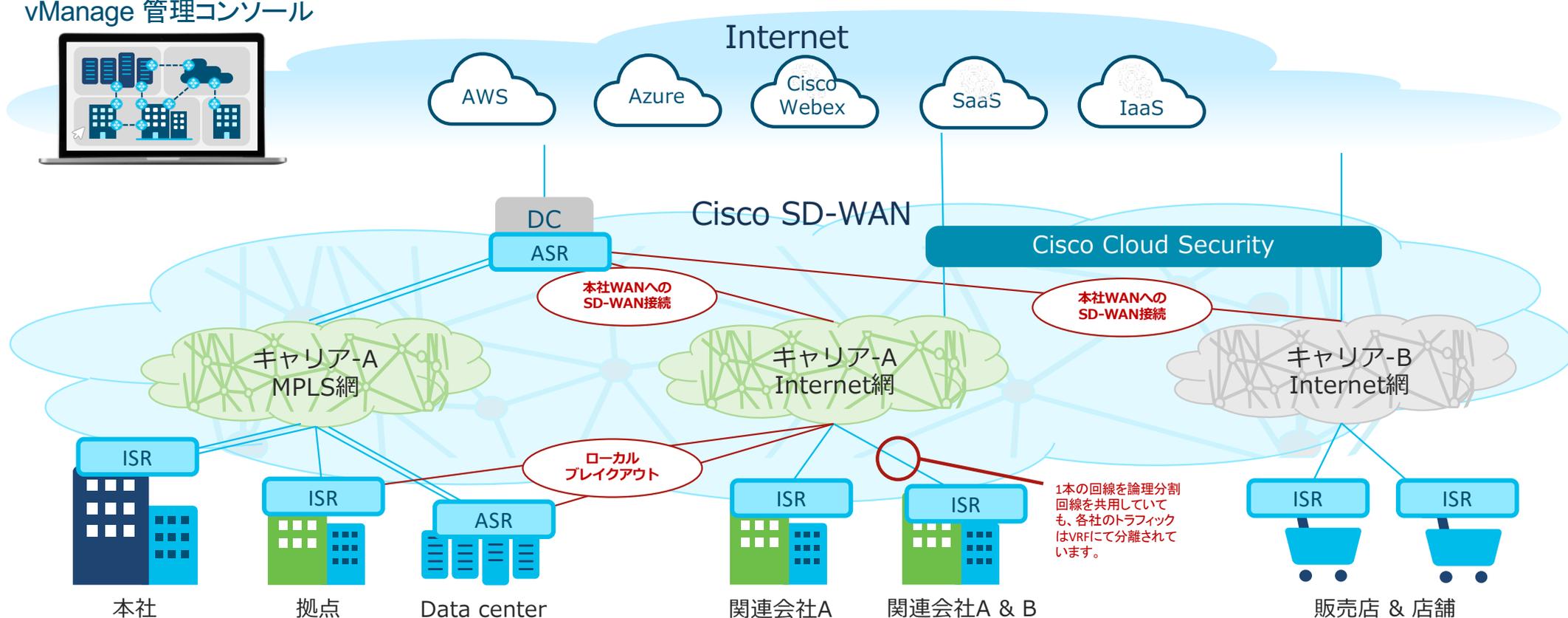
# Cisco SD-WAN



# Cisco SD-WANの基本構成

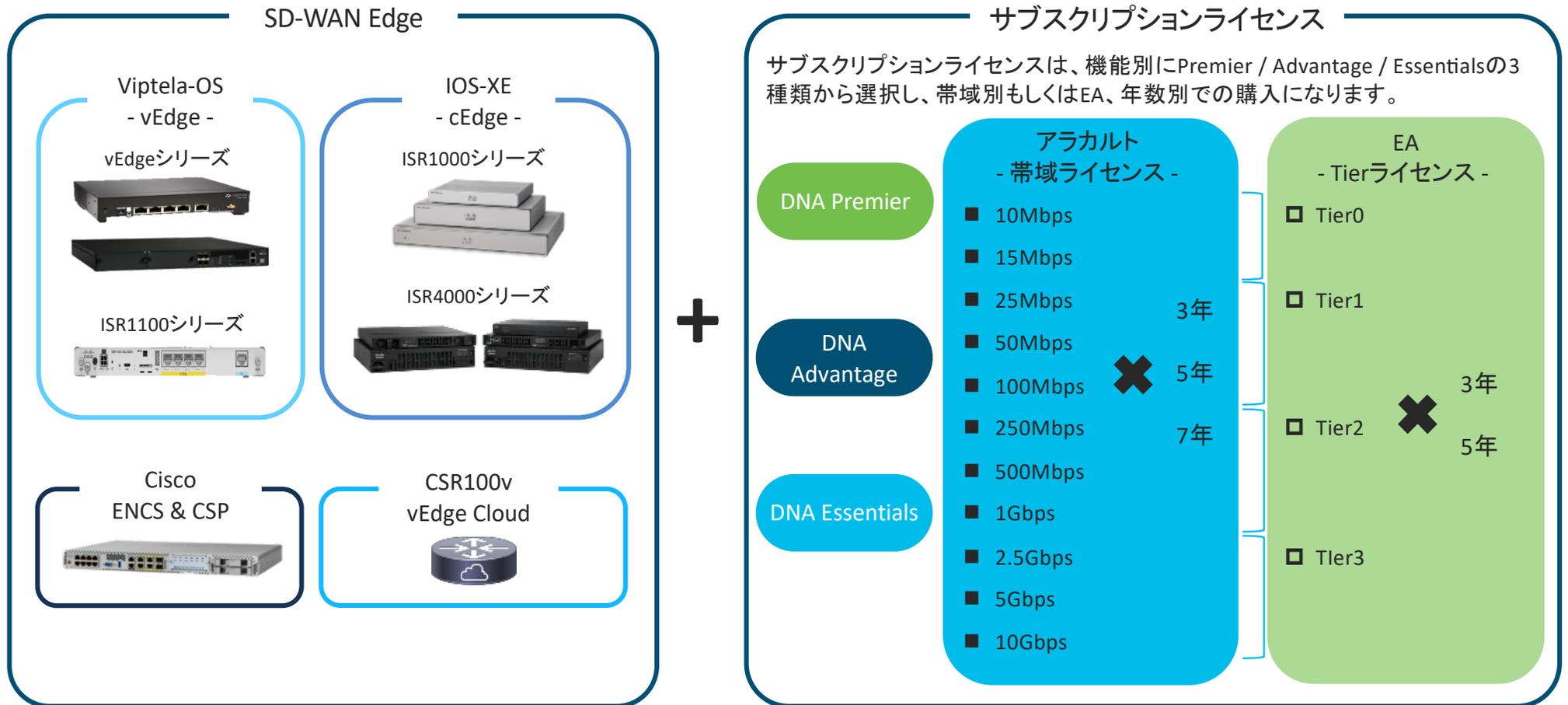
回線キャリア、回線種別、本数など、様々なネットワーク・WAN環境を、統合されたSD-WANとして一括管理可能です

vManage 管理コンソール



# SD-WAN 製品構成要素

Cisco SD-WAN の構成要素は、SD-WAN Edgeとサブスクリプションライセンスです。  
すでに購入されているSD-WAN Edgeに、後からライセンスを購入して、SD-WAN化することも可能です。



# Cisco SD-WANでできること

ライセンス

機能

DNA Essentials

DNA Advantage

DNA Premier

ZTP: Zero Touch Provisioning

回線のロードバランス

ローカルブレイクアウト(ダイレクトインターネットアクセス)

クラウドマネージコントローラ & オンプレマネージコントローラを選択可能

ダイナミックルーティング(BGP/OSPF)

Cisco Umbrella Secure DNS連携によるインターネット利用の可視化

WAN可用性機能(Path Optimization with FEC / Packet Duplication)

WANセグメンテーション(VRF)

SD-WANエッジでのUTM機能実装(Zone baseFW/IPS)

IaaS/SaaSへのSD-WANの延伸機能(Cloud onRamp for IaaS/SaaS)

SD-WANエッジでの高度なセキュリティ機能実装(Malware Protection/URL Filter)

Cisco Umbrella Secure DNS連携によるクラウドアプリケーションの可視化

Cisco DNA連携(Cisco SD-Access/Cisco ACI)

音声モジュール & SRST統合 \*ISR4000シリーズのみ

vAnalytics:ネットワーク全体の可視性、ネットワーク全体の制御を可能にする

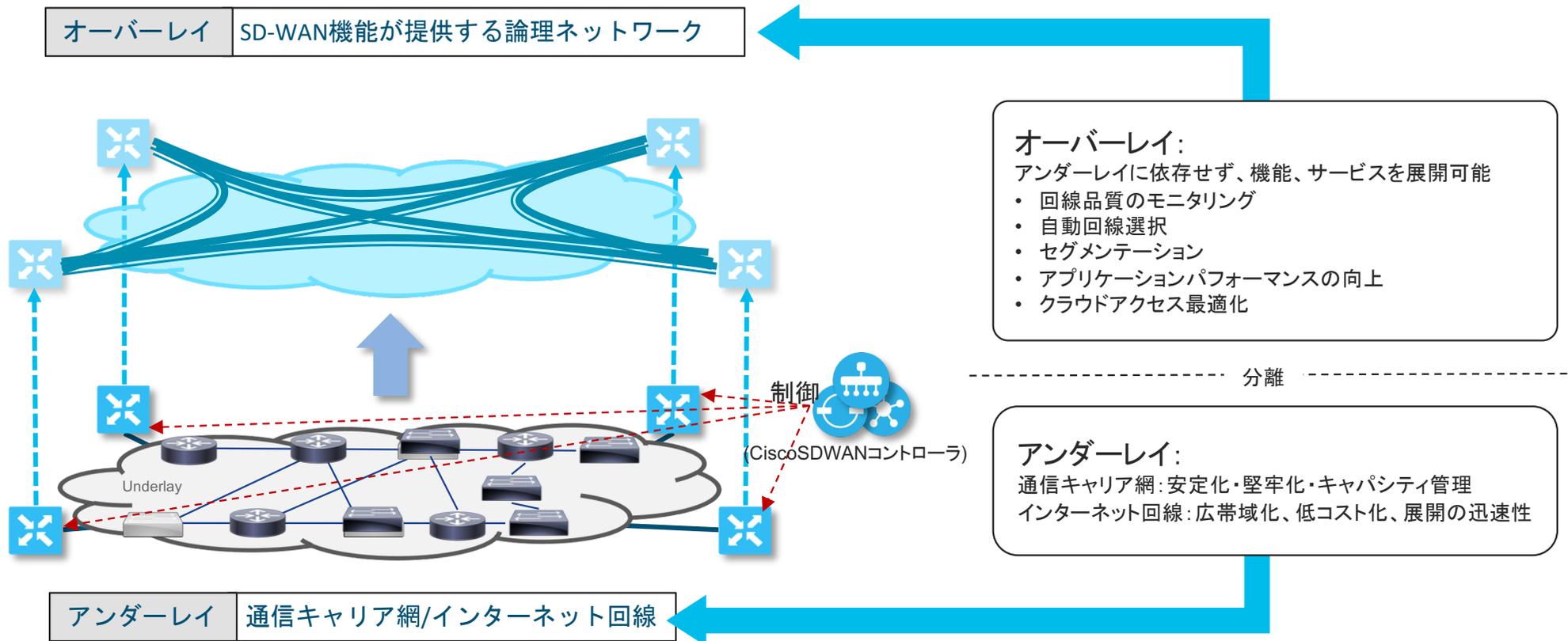
Cloud F/W & Proxy "Cisco Umbrella SIG" ライセンスバンドル

クラウドサンドボックス "Threat Grid" ライセンスバンドル



# SD-WAN – SDN技術を活用したWANの仮想化

論理的なネットワーク機能(オーバーレイ)を物理接続構成(アンダーレイ)上に形成



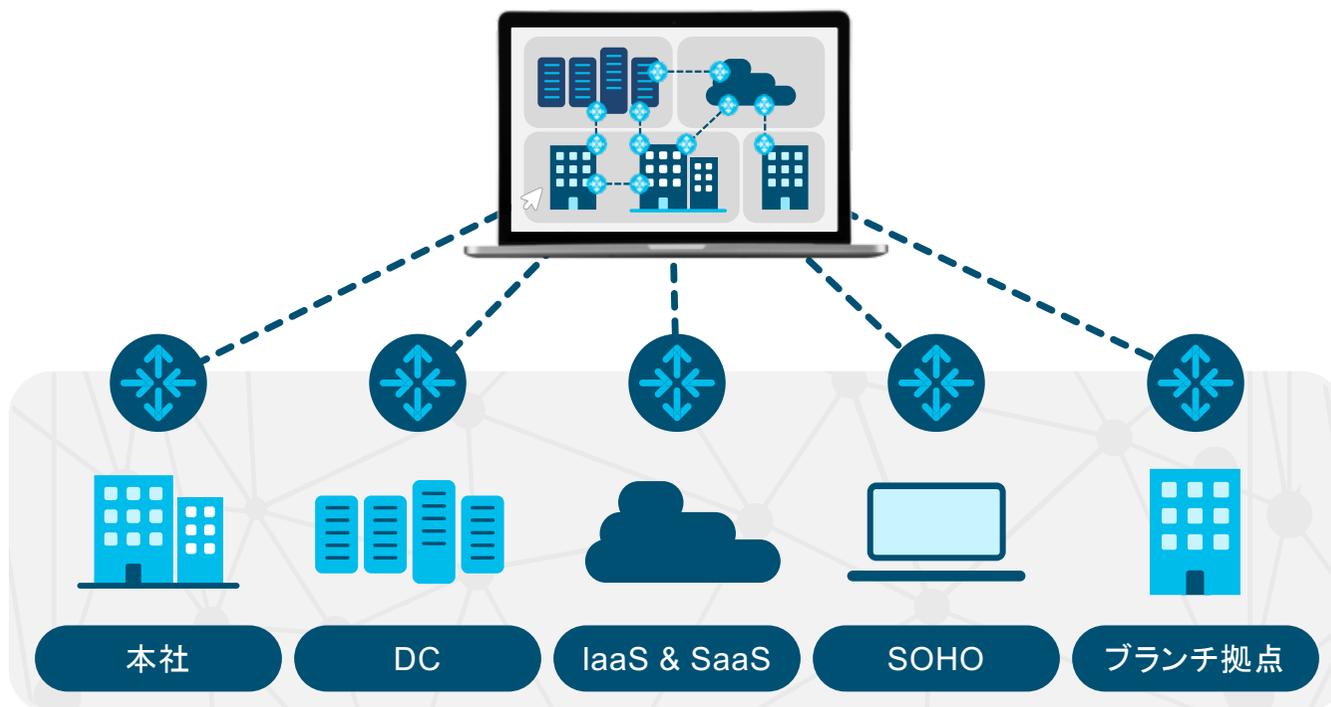
世界的な潮流: Eメールが「メール」になったように、SD-WANが「WAN」になった

# 一元化されたシンプルな管理を実現するCisco SD-WAN

## Cisco vManageによる、SD-WAN エッジデバイスの一元管理

グローバルポリシーを設定し、大規模な自動化を通じてポリシーを効率的に構成し、そのグローバルポリシーを設定し、1つのコンソールからすべてを実行できます。

### vManage 管理コンソール



### vManage

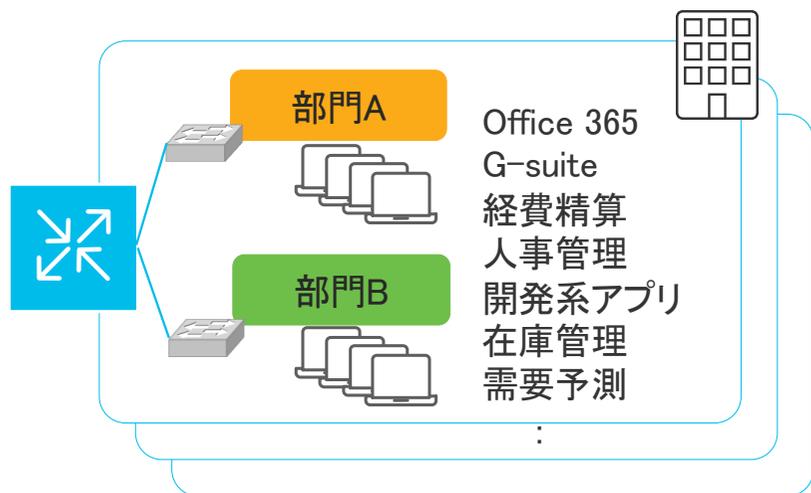
- ポリシーを効率的に設定・適用し  
スケーラブルな運用・自動化を実現
- セキュリティとネットワークの管理を同一コンソールから
- 運用管理を簡易化
- WANネットワーク全体の可視性を向上

すべてのデバイスを手動で構成するために費やす時間を削減できます。

そして、一元化されたコマンドから大規模にそれを実際に行うことができます。

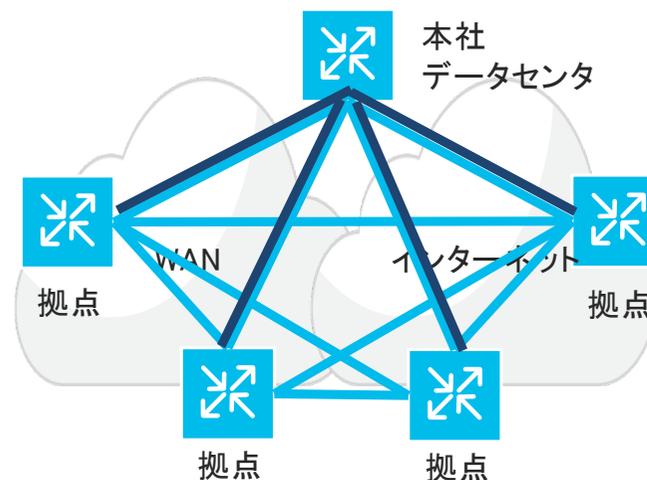
# Cisco SD-WAN のベーシックなユースケース

## 企業WANに柔軟に対応



- ✓ WAN特化型、完全閉域網もOK
- ✓ 既存の複雑なルーティングを踏襲可能

## 柔軟なネットワーク構成

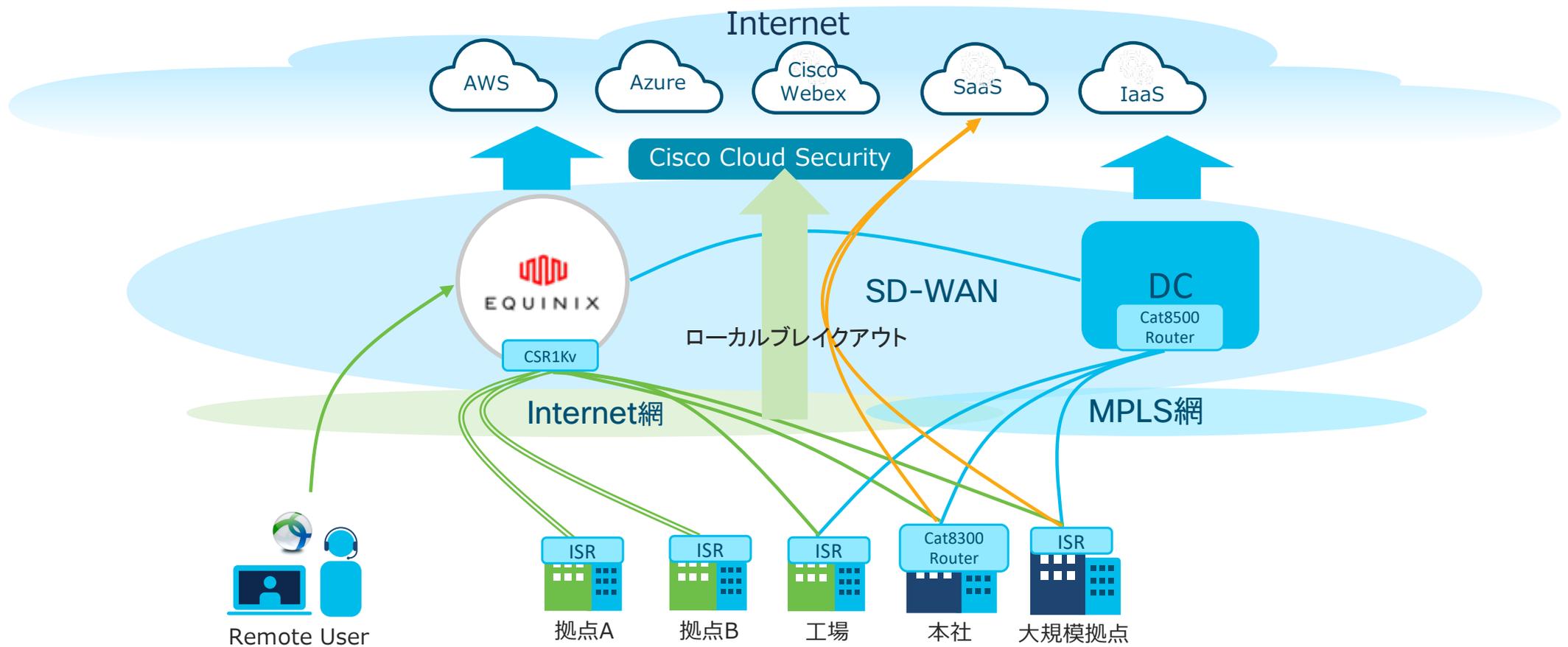


- ✓ WAN(閉域網)とインターネットのハイブリッド構成
- ✓ フルメッシュ、ハブ&スポークなど柔軟なネットワーク構成
- ✓ セグメンテーションによるセキュアなネットワーク分離
- ✓ セグメンテーション毎に様々なトポロジーを構築可能

Cisco SD-WAN as a SASEから  
BaaS(Backbone as a Services)へ

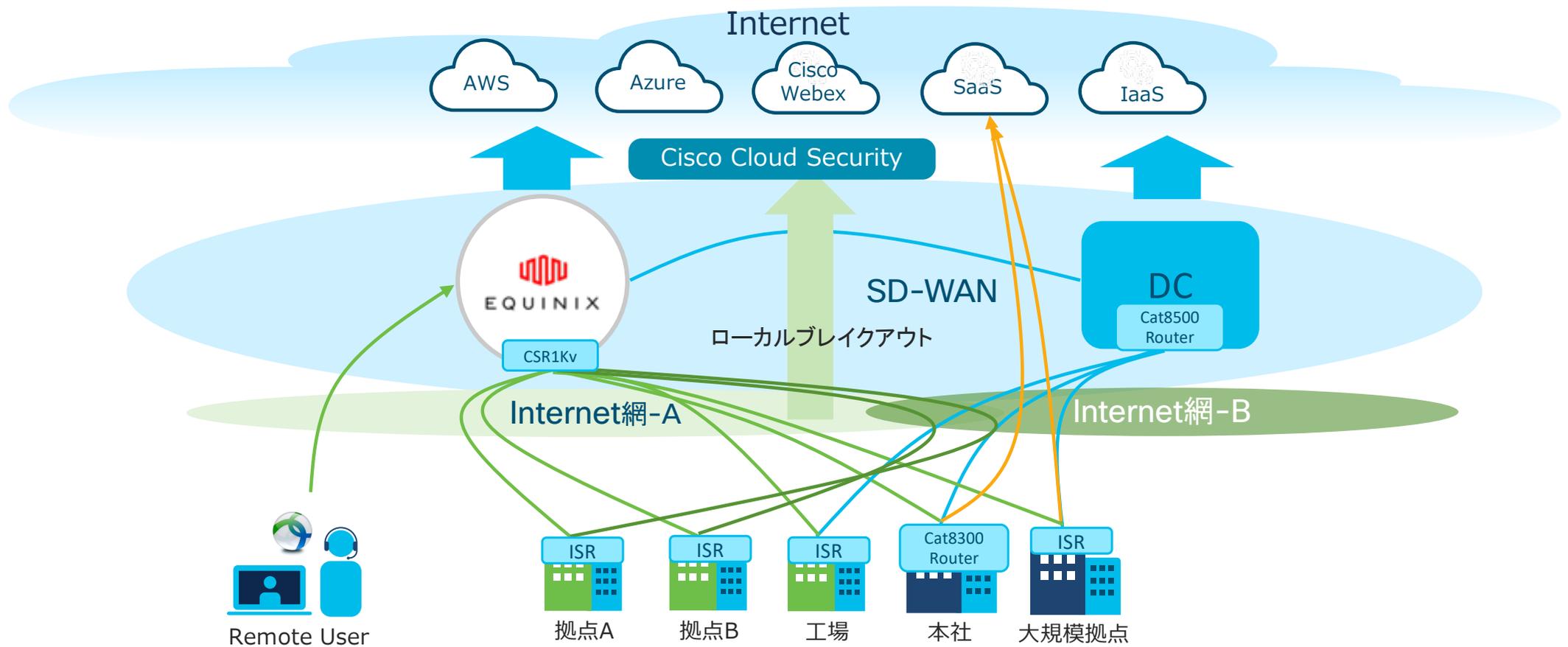
# SD-WAN as a SASE with Equinix: Case-1

MPLS + Internet



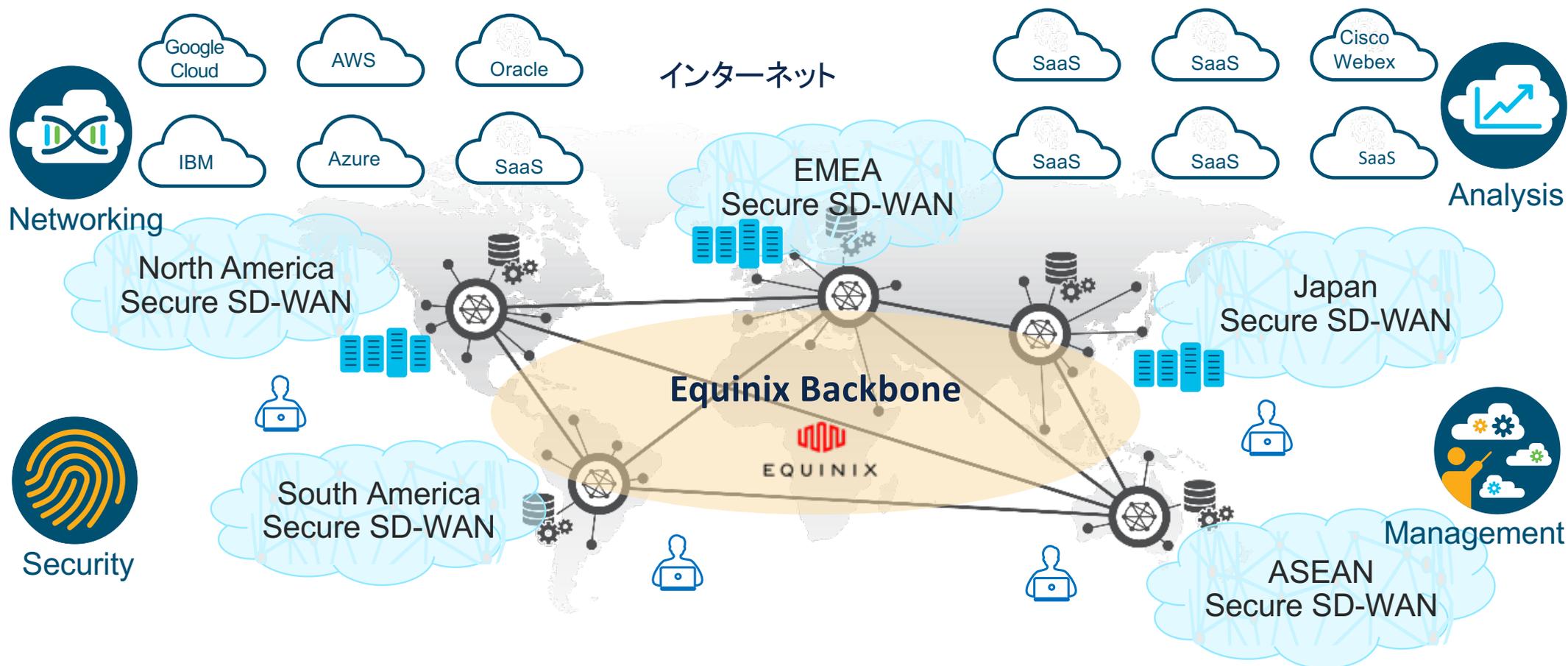
# SD-WAN as a SASE with Equinix: Case-2

Internet + Internet



# BaaS(Backbone as a Services) with Cisco SD-WAN

- Equinix Global Backbone and Cisco SD-WAN Cloud Edge





# Training for Engineer/Operator

Cisco SD-WAN 技術編座学

Cisco SD-WAN 技術・運用編 - 画面説明・運用初級編 -

# Training for Engineer/Operator 『Horizon Breeze』

Cisco SD-WANを熟知したTSA(Technical Solution Architecture)による、製品技術資料および、実際の画面を使った説明・デモンストレーションになります。

**基本は、Webinar形式での開催となります。**

**Cisco担当による開催となり、Web会議システム“Webex Meetings”による配信・参加となります。**

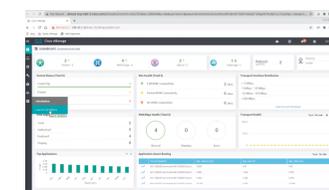
Cisco SD-WAN 技術編座学 - Cisco SD-WAN機能説明 プレゼンテーション編-

- コマ数：3コマ
- 時間：3時間30分(途中の10分休憩を2回含みます)
- 内容：機能説明+プレゼン資料 (PDF)の配布



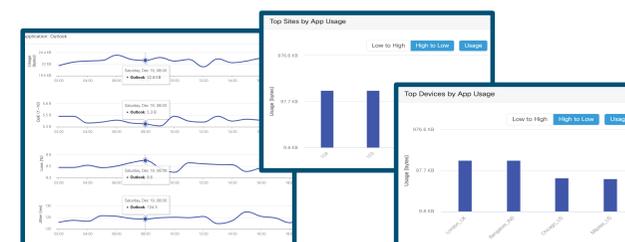
Cisco SD-WAN 技術・運用編 - dCloudでの画面説明・運用初級編 -

- コマ数：2コマ
- 時間：2時間5分(途中の10分休憩を1回含みます)
- 内容：dCloudを使ったvManageの画面説明・デモンストレーション



Cisco SD-WAN 技術・運用編 -運用初級編 vAnalytics -

- コマ数：2コマ
- 時間：1時間30分(途中の10分休憩を1回含みます)
- 内容：vAnalyticsの画面説明・デモンストレーション



# Training for Engineer/Operator 『Horizon Breeze』

## ➤ Cisco SD-WAN 技術編座学 - Cisco SD-WAN機能説明 プレゼンテーション編-

動画リンク	パスワード	動画再生時間	説明資料
<a href="#">Training 録画-20201222_0103-1</a>	Mqmenyy6	57:03	PDFにて提供 Page1 - 37: ソリューション概要 -> セキュアなコントロール接続
<a href="#">Training 録画-20201222_0205-2</a>	お問い合わせください	57:01	PDFにて提供 Page38 - 52: セキュアなデータプレーン接続
<a href="#">Training 録画-20210104_0105-1</a>	お問い合わせください	1:13:52	PDFにて提供 Page53 - 84: オーバーレイマネジメントプロトコル(OMP)とルーティング

## ➤ Cisco SD-WAN 技術・運用編 - dCloudでの画面説明・運用初級編 -

動画リンク	パスワード	動画再生時間	内容
<a href="#">Training 録画-20201225_0104-1</a>	MmBjcmr8	52:04	dCloud環境へのログイン、vManageでのConfiguration方法、テンプレートの活用、コマンドの利用
<a href="#">Training 録画-20201225_0211-3</a>	お問い合わせください	1:01:28	運用に則したモニタリング方法、Edgeルータのステータス確認、TLOCのステータス確認など

## ➤ Cisco SD-WAN 技術・運用編 - 運用初級編 vAnalytics -

動画リンク	パスワード	動画再生時間	内容
<a href="#">Horizon Breeze : vAnalytics Recording-20210309_0108-1</a>	Yp3RbXFK	37:11	vAnalytics : 機能概要説明 : 効果、活用方法、導入方法など PDFにて提供
<a href="#">Horizon Breeze : vAnalytics Recording-20210309_0152-2</a>	お問い合わせください	40:59	vAnalytics : 画面説明 : アプリケーションの利用状況の確認、分析方法の解説。セグメント(VRF)毎のアプリ利用率、利用者の絞り込みなど。

The background is a dark blue gradient. On the right side, there are several bright blue, parallel lines that appear to be light rays or beams of light, originating from a point in the top right corner and fanning out towards the bottom left. The text is positioned on the left side of the image.

お知らせ  
Cisco Live 2021

お客様、パートナー、インフルエンサーすべてのグローバルコミュニティのための最も重要なメッセージ、ブランド、学びのための重要なイベントです。

### Duration

2日間のブロードキャスト  
1日当たり6時間



### Cadence

フォローザサンモデルによる3  
スロットの開催  
AMER, AJPC, EMEAR



### Content

ブロードキャスト (6 チャンネル)  
Any Timeセッション  
Post Event



### Interactivity

ライブホスト, Q&A, Webex  
セッション, Meet the  
Engineer, ハンズオンラボ



### 開催日

- AMER: March 30-31
- APJC: March 31-April 1
- EMEAR: March 31-April 1

### Keynotes & Celebration

- オープニング グローバルキーノート
- Geo セッション
- ゲスト
- キーノート & エンターテイメント

参加登録 <https://www.ciscolive.com/2021.html>



The bridge to possible



ご登録は、無料の **Explorer Pass**、または有料の **All-Access Pass** (\$349または、4つのラーニングクレジット)をお選びください。

Passの詳細 <https://www.ciscolive.com/2021/attend/registration-packages.html>



World of Solutions では、シスコおよび協賛パートナー各社が、注目の製品・ソリューションをご紹介します。



2日間、いつでも視聴可能なタイプを含めた250以上のセッションをライブ配信し、開催後は100セッション以上の録画の公開を予定しています。

CISCO *Live!*

#CiscoLive



# APJC 開催概要

## APJC 基調講演者



Jeff Sharritts  
SVP, Americas



Dave West  
President, Asia Pacific, Japan, and Greater  
China



Wendy Mars  
President, EMEAR

## 各プログラム主催者

### Innovation Channel



Seema Hyne



Ray Kloss

### Leadership Channel



Julie Canepa



Raymond  
Janse van  
Rensburg

- 開催日時：  
日本時間 3月31日、4月1日  
午前10時～16時

(ウェブサイトではシンガポール時間SGTで表記されます)

- Live Q&A for Sessions  
(アメリカ時間にて対応、Webex Teamsにて実施)
- APJC お客様導入事例ご紹介  
(Any time セッション内を予定)
- AI による字幕のご提供

(当日の6つのブロードキャストチャンネルのみ)

- ・ Simplified Chinese
- ・ Traditional Chinese
- ・ Korean
- ・ Japanese
- ・ Thai
- ・ Vietnamese
- ・ Indonesian

参加ご登録ページおよび、アジェンダ含むイベントページすべて英語となり、APJCはシンガポール時間の表記となります。  
後日配信されるアーカイブセッションは日本語字幕は提供されません。



Thank you

